



代表交代に当たって

今年の4月は、寒くて天候不順でしかも台風以上の大荒れの日もあって、大変でした。そして、この月より3年ぶりの介護保険法の改訂があり、ゆいの会も早速4月1日に「研修会」を実施し、対応に当たりました。この改定は、介護報酬の内容もさることながら、施設から在宅介護への移行や医療との連携が見直しの課題といわれ、単身高齢者が増加するといわれる「2025年問題」を見据え、「高齢者が住みなれた地で暮らし続ける」という介護保険の目指す姿を示すものといわれています。

実は、私は1998年(平10)58歳でヘルパー2級の免許を取りその足でゆいの会に飛び込み、病院への移送をすることになりました。1999年にNPO法人認定事務のお手伝いをし、理事になりました。2004年(平16)にサラリーマンを辞めると、松下元代表にいいつかり翌2005年(平17)4月支援費事業の管理者として事務局に入り、終に2009年(平21)代表に登りつめました。世間的にみれば、大出世です。

たすけあいの待遇や介護時間の減少、ベテラン職員の退任など様々な問題を抱える中で、地域に密着した活動を求めて、副代表の吉良さんの助けもあり3年間夢中でした。処が、実は自分自身に様々な問題を抱えていることに気づきました。不整脈がでて血圧があがり、不眠もあります。20周年イベントの直前には肺炎になりました。根気がなくなり、怒りっぽくなります。つまり、70歳を超えると加齢に伴う障害の現象が始まり、このまま代表を続けていたら、反って会に迷惑をかけると考え、昨年11月の理事会で松下典子さん・樋口禮子さんの両代表経験者を中心に「役員選考委員会」を開催してもらい、下村一美さんに代表就任を承諾していただきました。

介護保険法の改定が示すように、地域福祉で益々NPOの役割が重要になります。こんな時代のゆいの会のリーダーはどんどん老いに向う高齢者より、チャレンジの利くベテラン世代が担うべきでしょう。ゆいの会の事務局と訪問介護事業所の常勤スタッフは40代・50代となり、下村さんは時代を担う代表にふさわしい人です。

わがままな代表でしたが、会員の皆さんに親切にしてくださいました。これからも、何かの役に立ちたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

会員状況(平成24年3月31日現在)

協力会員	84人
利用会員	187人
ふれあい会員	72人
賛助会員	25人
合計	368人

活動実績	12月	1月	2月	
たすけあい活動	242.5	215.0	196.5	時間
移送	181.0	185.0	199.0	回
配食サービス	260	284	351	食
施設ボランティア	9	8	23	人
ゆいサロン	72	53	65	人
さをり織り	129	133	154	人
陶芸	65	70	87	人
自立支援(パソコン)	20	19	24	人
絵手紙	8	9	15	人
紙すき	4	0	0	人
パッチワーク	10	10	12	人
アーツコースレ	1	3	3	人
介護保険 訪問介護	53	58	59	件
	776.0	707.5	719.6	時間
障害福祉サービス	310.0	237.5	272.5	時間

ご寄付有難うございました。
大切に使用させていただきます。

大塚 康夫 様
近藤 兼久 様
匿名 3名 様

主な活動報告

(平成23年12月～24年2月)

【12月】

- 1日 防災・防火訓練 ゆいサロン・ガレッジホール
- 2～4日 「色と遊ぶ」さをり展 森牧場にて
- 3日 トヨタ車体バスツアー 11名
- 5日 介護予防訪問介護 更新申請(6年に1回)
- 12日 第87回 ケア会議
- 15日 第4回 安心地域づくり協議会
- 17日 八百津生活介護支援サポーターバスツアー
- 19日 第9回 運営委員会
- 28日 事務所 大掃除

【1月】

- 10日 ゆいサロン 初釜(抹茶を楽しむ)
- 16日 第88回 ケア会議
- 17日 サポートちたバスツアー
- 23日 第5回 安心地域づくり協議会
- 第10回 運営委員会
- 26日 第1回 新知小学校体験学習受け入れ 30名
- 27日 第113回理事会
- 28日 コミュニティ研修会へゆい膳配食40食
- 29日 ゆいの会 親睦会(きりや)

【2月】

- 6日 さりコ定例会
- 8日 第6回 安心地域づくり協議会
- 9日 第2回 新知小学校体験学習受け入れ 30名
- 16日 第3回
- 17日 第4回 安全運転講習会
- 20日 介護保険法改正勉強会 3人
- 第89回ケア会議
- 石鹸作り
- 24日 福祉環境コーディネーターツアー
- 27日 第11回 運営委員会

平成24年度 総会のお知らせ

日時 平成24年6月6日(水) 10:00～
場所 知多市福祉活動センター1F 第会議室
(知多市緑町32-6)

ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせの上
ご出席いただきますようお願い申し上げます。

ゆいの会 文化祭

日時 6月16日(土)
10:00～16:00
場所 ゆい工房・事務所

皆さんの日頃の成果を是非
ごらんください。

第1・2回安全運転講習会

日時 5月17日(木)
7月19日(木)
16:30～
場所 ゆい工房

平成24年度 年会費納入のお願い

24年度の会員手続きを受け付けております。お手数ですが近くの会員、又は金融機関への振り込みをお願いします。

年会費 3000円 三人目から2000円
移送保険 700円

振込み先	支店名	種類	口座名	口座番号
知多信用金庫	知多支店	普通	特定非営利活動法人 ゆいの会	0046383
郵便局	特定非営利活動法人	ゆいの会	記号 12180 番号	80734221

福島を元気にしようツアーに参加して

東日本大震災から一年経った？ 10、11日、震災後初めて東北の地を訪れました。NPO 法人 さをりひろばの後援する東日本大震災一周年記念プログラム “いのち つないで つながって 福島を元気にしようツアー” に参加するためです。

ゆいの会から4人が参加しました。私たちはみんな震災後の東北の現状を知りたいと思っていました。

福島の人たちは 津波の被害と共に福島第一原子力発電所の爆発で放射能の恐怖と風評被害に苦しんでいる。今なお県内外で約 16 万人の人が避難生活を強いられ、福島県の 3 月 10 日のまとめによると県外への避難者は6万3456人。今も県外流出は止まらないうと聞いています。現実をこの目で見て自分に何が出来るか考えたいと思いました。

子供を持つお母さんたちの長い戦いは始まったばかり、街に子供たちの姿が見られずタクシーの運転手さんは観光客もめっきり減ったと嘆いていました。

震災後、初めて訪ねた福島の町並みや景色は本当に美しく故郷を離れた人々の無念さは 計り知れません。見かけだけは地震の被害は分からないほど修復され、福島産の農産物が売れないという話を聞いた後、伐採された果樹を見、設置された線量計を見て来ました。

原発さえなければ。原発は安全だと言われたその言葉が嘘だった。自分たちは無知だった。孫が六月に産まれるけれど、避難先で被爆したかもしれない。と懇親会でビールを飲みながら少しずつ胸の内を聞きました。

私はまだ何もわかっていません。

でも現地を訪れることによって 3.11 で変わってしまった人々の現実をもっと知りたいと思うようになりました。

3.11 から学べるものがたくさんあります。

私自身、放射能被害のことについても無知。津波の威力も知りませんでした。

ツアーが終わって、三陸海岸の大船渡、釜石に足を延ばし、現地を見て来ました。

私の中で大津波と放射能の被害が現実のものとなり身近に感じています。

今回の旅で出会った人たちは、私たちが知りたいと思って話を聞くだけで嬉しいと言って下さいました。

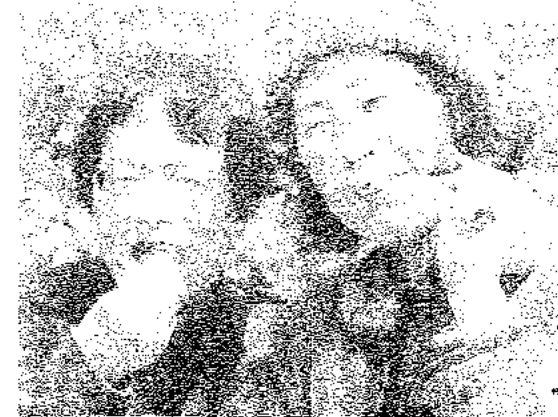
これから長く続く復興に向けて日本人が心をひとつにすることで、希望が見えてくると思っています。

二泊三日の旅でたくさんのことを学びました。

私たちの旅の様子が少しでも伝われば幸いです。

ふれあいさをり 中田真理子

イチゴ狩り H24. 3. 25(日) ブルーチップファームにて



天気 晴れ(^.^)v でも、強風(*_*)

11:00 イチゴ狩り。温室の中でよかった(*^_^*)

障がい支援サービスのお楽しみ会。

「では、みなさん食べ始めてください」の声と共に皆さんいちごを食べ始めました。みんな大きいのを探して食べていました。どれだけ食べれたか数を数える人もいました。25個、43個、80個 (>_<)・・・すごいですね。時間内にみんな食べ終えたみたいで、ヘルパーさん達と、梅の館に向かいました。梅の花もまだ咲いていて、菜の花や水仙とのコラボがとってもきれいでした。散歩するひと、演奏を聴く人とさまざまでした。

13:30 ランチタイム

レストランにて、お食事をしました。

あっという間に時間は過ぎてしまいました。

また、来年のお楽しみ会が楽しみです。